

**令和4年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（農業）】**

専門論文試験課題

<課題>

地球温暖化による気候変動や大規模自然災害の増加が食料生産に大きな影響を及ぼしており、環境に配慮した持続的農業の実現が世界的な課題となっています。

このような中、国においては、昨年5月に「みどりの食料システム戦略」が策定され、2050年までに目指す姿として、化石燃料を使用しない施設園芸への移行、化学農薬の使用量(リスク換算)50%低減、化学肥料(輸入原料、化石燃料を原料)の使用量30%低減、有機農業の取組面積の割合を25% (100万ha) に拡大、などが掲げられています。

一方、本県においては、本年3月に「みやざき農水産業グリーン化推進プラン」を策定し、目指す姿・取組方向として

- ① 資源循環型産地づくりとエネルギー転換の推進
- ② 効率的で、災害に強く持続可能な生産基盤の確立
- ③ 環境に優しい農水産業の展開

を掲げ、取組を進めていくこととしています。

そこで、本県農業を持続可能な農業へ転換させるために必要な具体的な取組について、あなたの考えを述べなさい。